

早川金属工業の法人施設(西田辺)とそのQSLカード

HAYAKAWA METAL CO.,LTD.「Tを握る」ロゴ NISITANABE OSAKA とあるJ3HGのQSLカード(原本)。
運用周波数は許可通り7、14、28Mcと印刷。時刻はJCTと表記(国内向けか?)。

J3HGの免許概要

A1、A3 7M、14M、28M 10W

★出展:1939年7月27日付け官報#2175
通知はこの3日前とされるのが通例

<p>昭和十三年七月二十七日</p> <p>無線電信無線電話ノ工事設計ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ</p> <p>一、呼出符號 J3HG</p> <p>二、空中線電力 一〇ワット以下</p> <p>三、使用電波ノ型 及二八四〇〇ケ</p> <p>四、實驗時間</p> <p>自午前二時至午前四時 自午前六時至午前八時 自午前十時至午後二時 自午後四時至午後六時 自午後十時至午後十二時</p> <p>逓信大臣 田邊 治通</p>	<p>◎逓信省告示第二千七百七十五號</p> <p>昭和八年九月逓信省告示第二千七百七十五號早川金属工業株式會社取締役社長早川徳次施設無線電信無線電話ノ工事設計ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ</p>
---	---

昭和十三年十二月十九日免許(次々頁)の受信局の工事設計の変更を許可(官報は「変更を許可」であって「開設許可」ではない点に注意を要する。要するに、検査と免許状交付はこれ以降になる)

吉田考察:

- (1) J3HG: 長池町で免許されていたJA3YHUの前身と言って差し支えないと考える。J3HGの「免許状」は開戦で禁止された時に返納したと思われる。
- (2) 上のカードはブランクカードである。前所持者はJ3HGを運用していたとされているので(当時の実験局運用の厳格さを考えると部外者が気軽に運用できるとは考えにくく前所持者は早川金属工業の従業員であったと考えるのが自然)、未記入状態のまま所持されていたものに違いない。
- (3) J3HGの主目的は、会社の無線(船舶)分野への進出のための実験であったとされている。
- (4) 戦前の早川金属工業の船舶無線への進出については、電気通信大学ミュージアムに、SHARPブランドの船舶用AM、CW500W送信機が展示されている:
<https://www.museum.uec.ac.jp/database/sf/sf500/s518.html>

中央の地図には、樺太や朝鮮半島、満州は含まれているが、台湾や南洋州は抜けている。

歴史調査

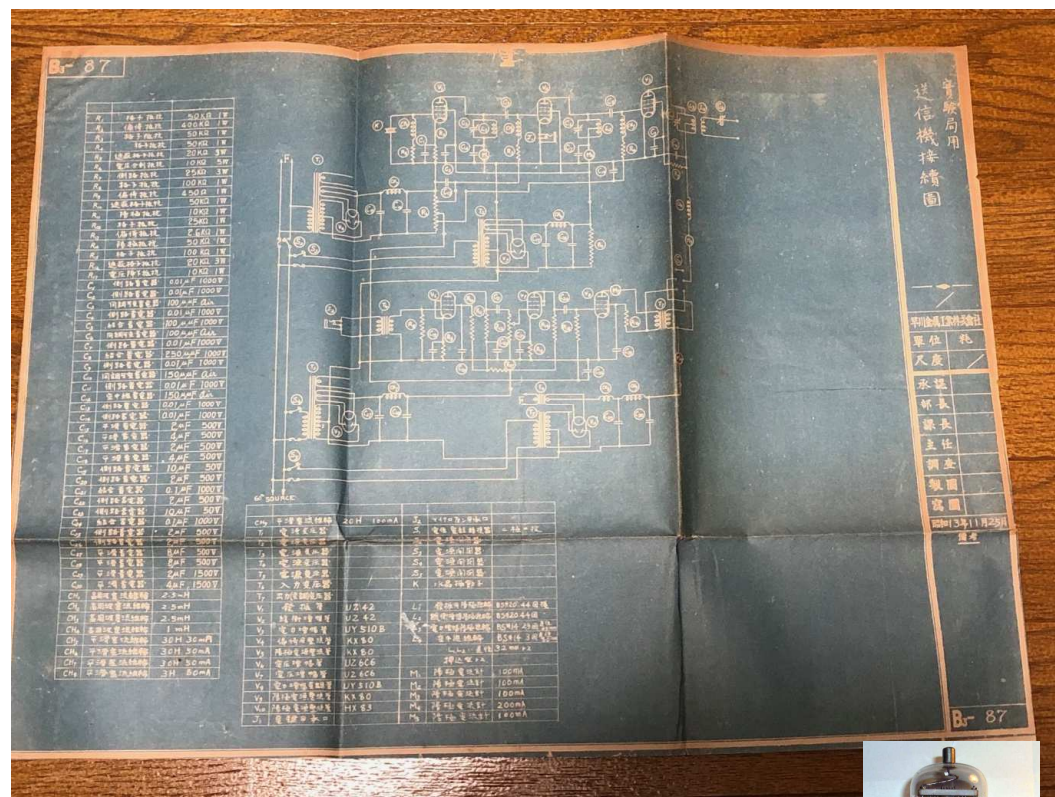
早川金属工業

実験局用送信機接続図(原本)

2026.2.1 吉田まとめ

このような図面は終戦時に廃棄され ほとんど残っていないとされている

B3-87、昭和13年11月25日付



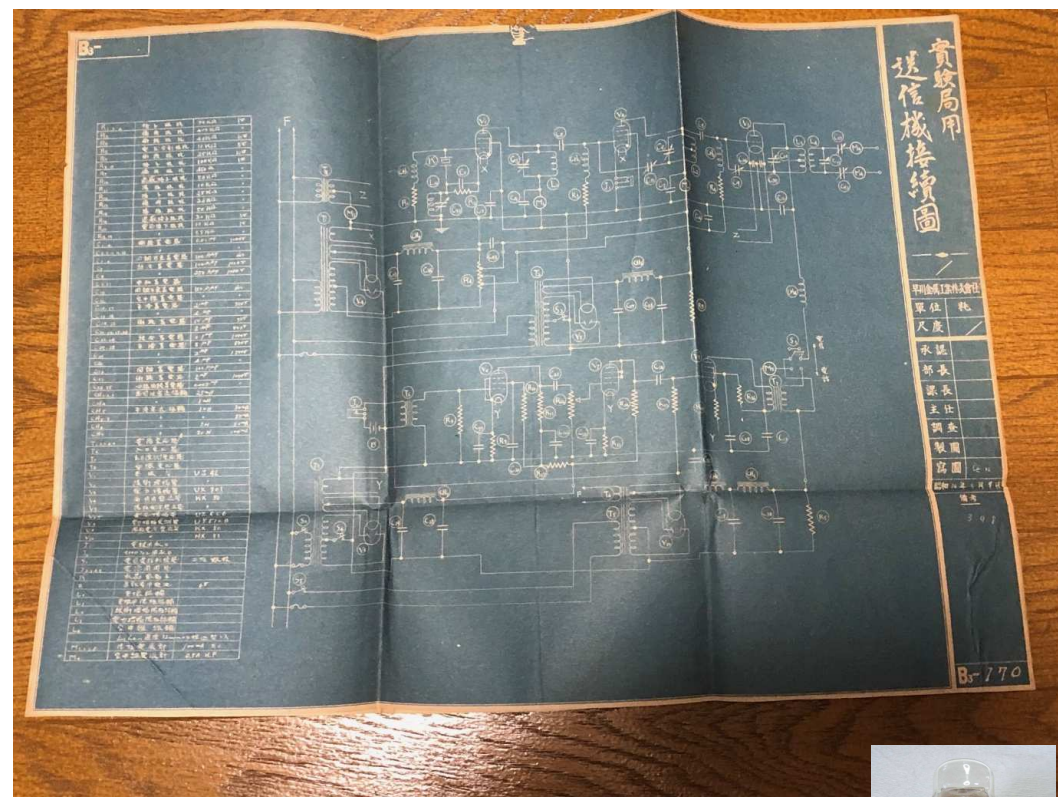
3ステージのAM、CW送信機
水晶発振42- 緩衝増幅42- UY-510B
変調UY-510B

-2- 高圧整流HX-83

UY-510B
Webより



B3-170、昭和14年3月9日付(1939年7月24日免許のJ3HG用と思われる)
表紙に、受信機はUZ58-UZ57-UY76-UZ2A5(整流KX80)の1-V-2と記載あり



3ステージのAM、CW送信機
水晶発振42-緩衝増幅42- UX-801
変調UY-510B(カーボンマイク)
高圧整流HX-83

UX-801 = VT-31
Webより



歴史調査

もっと(もっと)古い時代編

2026.2.1 吉田まとめ

早川金属工業の「受信局」としての免許

- ・昭和8年(1933年)9月15日 #2075 早川徳次 1.2Mc~2.5Mc
- ・昭和13年(1938年)12月19日 #3965
早川金属工業(株)取締役社長早川徳次(法人免許に変更された)
- ★出展: 1933年9月15日付、および1938年12月19日付の官報

当時の官報抜粋

昭和8年9月15日

●通信省告示第二千七百七十五號
無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信
無線電話施設ヲ許可セリ
昭和八年九月十五日
一、施設者名 早川徳次
二、施設ノ目的 無線電信法第二條第五號ニ依
リ無線電信無線電話ノ學術研
究及機械ニ關スル實驗ニ使用
三、機器裝置場所 大阪市住吉區西田邊町二十五
番地
四、裝置方式 真空管式受信機
五、通信執務時間 不定

施設者名 早川徳次
施設ノ目的 無線電信放第二條第五号に依
リ無線電信無線電話の學術研
究及び危機に關する実験に使用
機器裝置場所 大阪市住吉區西田邊町25番地
裝置方式 真空管式受信機

昭和13年12月19日

●通信省告示第三千九百六十五號
昭和八年の通信省告示第二千七百七十五號早川
徳次施設私設無線電信無線電話ノ施設者名
ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十三年十二月十九日
一、施設者名 早川金属工業株式会社 取締役社長
長早川徳次
二、施設ノ目的 無線電信放第二條第五号に依
リ無線電信無線電話の學術研
究及び危機に關する実験に使用
機器裝置場所 大阪市住吉區西田邊町25番地
裝置方式 真空管式受信機

右の昭和13年の許可や前々頁の昭和14年のJ3HG許可は、すべてこの昭和8年の許可の「変更ヲ許可セリ」とされている

当時のコールブック抜粋

昭和10年11月実験局名簿32頁(受信局:早川徳次掲載)

(32)	J 3	大阪								
受信局										
コール CALL	姓 NAME	名	住 ADDRESS	所 (自宅電話) TEL.	電力 WAT 消費 型	周波数 M.C.	許 可	機 動 先	生 月 日	備 考
	早川 Tokuji Hayakawa	徳次	大阪市住吉区西田邊町二五 電天王寺1550 2997			1.2- 2.5	8. 9.12	ラジオ シャープ 製作所		

昭和11年9月実験局名簿33頁(受信局:早川徳次掲載)

J 3		大阪		(33)						
コール CALL	姓 NAME	名	住 ADDRESS	所 (自宅電話) TEL.	電力 WAT 消費型	周波数 M.C.	許 可	機 動 先 見	生 年 月 日	備 考
受信局										
早 川 徳 次 Tokuji Hayakawa		大阪市住吉區西田邊町二五 電天王寺1550 2997			1.2- 2.5	8. 9.12	ラジオ シャープ 製作所			

昭和14年1月日本及び満州国所在短波長無線実験局名録7頁
(受信局:早川金属工業株式会社掲載)

大阪逓信局管内	
J 3 F Z 櫻井 一 郎 大阪市東區小橋西之町 1	〔受信局〕 安 藤 照 雄 京都市上京區紫野下柳町 24 早川金屬工業株式會社 大阪市住吉區西田邊町 25
J 3 G A 京都府立京都第三中學校 京都市右京區花園馬代町	
J 3 G B 井上 玉 光 大阪市東區船場町 33	
(無線と實録)	
7	